

北海道
観光学習教材

みらい かんこう
未来の観光



北海道観光PRキャラクター
キュンちゃん

じゅぎょう もくひょう
この授業の目標

観光の仕方がどのように変化しているかを知り、
観光が与える地域への影響を話し合っ、
どのような観光がわたしたちのまちの未来に向けて必要かを考えよう！



【^{かん こう} ^{かんが} からの観光を考えよう】

① ^み「見る」観光から^{たいけん}「体験する」観光へ

^{ゆうめい} 有名な^{しせつ} 観光施設を訪れて^{おとず} 見学したり、^{けんがく} きれいな^{けしき} 景色をただながめるだけではなく、それ
^{いじょう} 以上の「体験をする」ことを^{もと} 観光に求める人が^{ひと} 増えてきています。^{たと} 例えば、^{てら} お寺を訪れて
^{きょう} お経の^よ 読み上げを行ったり、^あ 美しい^{おこな} 湖や川で^{うつく} カヌーを^{みずみ} こいだり、^{かわ} 釣り^つ をしたり、^{じょうば} 乗馬^{じょうば} をしたり、
^{じぶん} 自分で^{ふか} 体験^ち してみることでより^し 深く^{まんぞくど} 観光地^{たか} のことを^{おも} 知ることができ、^{おも} 観光の満足度も高ま
ります。その^{とくべつ} 観光地^{おも} でしかできない特別な体験^{おも} がしたいと思っている人が増えてきています。



びふちよう てしおがわ
美深町 天塩川

② ^{かんきょう} 環境を^{たいせつ} 大切に^{とりくみ} した観光への取組

^{やせい} 野生の^{どうぶつ} 動物や^{しょく} 植物を^{かんさつ} 観察したり、^{やまのぼ} 山登り^{ちけい} をしたり、^な 地形^た の^{まな} 成り立ち^い を^い 学ぶなど、^い 地域の
^{しぜん} 自然^{れきし} 環境^{ぶんか} や^{りゆう} 歴史^{あくえいきょう} 文化^{あくえいきょう} を^あ 体験^あ する^あ 観光^あ が^あ 増^あ えて^あ います。^あ 理由^あ は、^あ 自然^あ や^あ 文化^あ に^あ 悪^あ 影響^あ を
^あ 与^あ えず^あ に^あ 観光^あ を^あ 楽^あ し^あ み、^あ 環境^あ を^あ 守^あ って^あ 未^あ 来^あ に^あ つな^あ げて^あ いく^あ こと^あ が^あ 大^あ 切^あ だ^あ と^あ 考^あ え^あ ら^あ れ^あ て^あ いる
から^あ です。^あ 観^あ 光^あ 客^あ に^あ 地^あ 域^あ の^あ 魅^あ 力^あ を^あ 伝^あ える^あ こと^あ で、^あ そ^あ こ^あ に^あ 暮^あ ら^あ す^あ 住^あ 民^あ の^あ 方^あ 々^あ も^あ 地^あ 域^あ の^あ 自^あ 然^あ や
^あ 文^あ 化^あ の^あ 大^あ 切^あ さ^あ を^あ 見^あ 直^あ し、^あ 地^あ 域^あ 社^あ 会^あ そ^あ の^あ も^あ の^あ が^あ 元^あ 気^あ に^あ な^あ る^あ と^あ い^あ う、^あ 地^あ 域^あ の^あ 未^あ 来^あ を^あ 守^あ る^あ 持^あ 続^あ
^あ 可^あ 能^あ な^あ 観^あ 光^あ は、^あ 今^あ 世^あ 界^あ 中^あ で^あ 取^あ り^あ 組^あ ま^あ れ^あ て^あ います。



きりたっぶしつげん
霧多布湿原



【これからの観光を考えよう】

3 「オーバーツーリズム」って何だろう？

観光客の数が増えることで、その観光地に住む人たちの生活そのものや自然環境に良くない影響を与えたり、その観光地の魅力を下げってしまうことを、「オーバーツーリズム」といいます。テレビ番組やインターネットの情報をもとに観光地に人が押し寄せると、オーバーツーリズムが起こりやすくなります。道路が渋滞する、バスや電車などが混雑する、路上のゴミが増える、まち中がたくさんの人で混み合う、夜間の騒音が発生するなど、オーバーツーリズムにはさまざまな問題があります。

まちが
観光客であふれ、
生活しにくいような
状態だね



4 観光客による自然環境の破壊

観光が原因で、その地域の自然環境が壊されてしまうことが問題となることも少なくありません。東南アジアのある小さな島が、1日に4,000人も観光客が訪れる人気リゾートとなったところ、観光客が出すゴミなどが原因で海がよごれて80%以上のサンゴ礁がなくなったという例もあります。北海道の知床でも、観光客がエサをやったことでヒグマが人間になれてしまい、市街地に入りこむようになったために駆除されるなどの影響が出ています。

かんが
考えてみよう！

どんな観光をすれば
わたしたちのまちの未来の
ためになるか考えてみよう！

